

営農情報(令和7年12月)

作成・監修 勝浦町農業振興推進班

■温州みかん

今月は収穫作業も大詰めとなり、入庫作業に追われながらの収穫や予措・貯蔵管理となりますが、最後まで丁寧に行いましょう。

◇予措

貯蔵する場合は予措を行います。予措を行うことで貯蔵中の浮皮発生を抑えるとともに果皮の体質が強化され、貯蔵中の腐敗果の発生を抑制します。予措は1～2週間かけて果実重を3%ほど減量させますが、貯蔵期間が長い場合はやや強めに行います。

急激に乾燥させると、果皮の萎びにつながるため注意が必要です。結露がつくようであれば、湿度が高く浮皮が発生する恐れがあるため、適宜換気を行う必要があります。

■かき

◇元肥は12月上旬に窒素成分で12kg/10a施用する。(例:阿波のかがやき 6袋)

◇土壌改良のため、堆肥、苦土石灰または有機石灰を施用する。

【12月の病虫害防除】

かんきつ類

時期	対象病虫害	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
収穫後	カイガラムシ類 ミカンハダニ	ハーベストオイル	60倍	—	—

※樹勢の低下している樹では、3月中旬に80倍で散布する。

うめ

時期	対象病虫害	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
休眠期 (発芽前)	ウメシロカイガラムシ	ハーベストオイル	50倍	—	—

※多発園は散布する。樹勢の弱い園では散布しない。

■のびる

◇追肥

・収穫始めの12月に2回目の追肥をする。(例:S555 3kg/1a)

・3回目の追肥を2月に行い、これを止め肥とします。

◇収穫

・12月から4月中旬まで収穫が続きます。

・草丈50cm、茎径8～10mmの頃が収穫時期です。

◇病虫害防除

・のびるについては、登録農薬はありません。「野菜類」で登録のある農薬(除草剤を含む)を使用してください。

・登録外農薬による被曝の恐れがあるもの(例:かんきつ園地内)は、残留農薬のリスクがあるため、出荷しないようにしてください。

	対象病虫害	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
野菜類	軟腐病	ジーファイン水和剤	1000倍	前日	—
	アブラムシ類	サンクリスタル乳剤	300倍	前日	—

■なのはな

◇収穫

- ・蕾が大きくなりすぎないように適期の収穫を心がける。
- ・取り残して花を咲かせると、草勢が弱るので注意する。

◇施肥

- ・地温が下がると肥料の効きが鈍くなるので、早め早めに追肥を行う。
- ・追肥は蕾が見え出す前頃から始めるが、その後 10日～15日間隔に行う。
- ・1回の量は、10aあたりNK808化成で10～20kg程度を目安とする。
- ・追肥は畦の肩にふり、除草を兼ねて中耕しながら株元へ土寄せする。

	対象病害虫	薬剤名	散布濃度	収穫前日数	使用回数	
なのはな* (なばな類)	アブラムシ	スタークル(顆)または パダンSG(水溶)または トランスフォーム(フ)	3,000倍 1,500倍 2,000倍	収穫3日前 収穫7日前 収穫前日	2回以内 3回 // 3回 //	
		コナガ・ハスモンヨトウ	アフーム(乳)または ディアナSC(水)	1,000倍 2,500倍	収穫7日前 収穫前日	2回 // 2回 //
		黒腐病・軟腐病	カスミンボルドー(水)または コサイド3000(水)	1,000倍 2,000倍	収穫14日前 —	3回 // —

※非結球あぶらな科葉菜類に登録がある農薬は、なのはなに使用できます。
※農薬ラベルには「なのはな」ではなく「なばな類」と記載されています。

【トピックス】

■ラウンドアップマックスロードの使い方について

近年、除草剤ラウンドアップマックスロードの抵抗性雑草が増えていることもあり、10月20日の営農講座に日産化学株式会社の松野朋彦氏を招き、説明を受けたのでご紹介します。

ラウンドアップ(グリホサート)抵抗性がある雑草については、イネ科雑草では、オヒシバ、イタリアンライグラスが、広葉雑草ではオオアレチノギクが知られています。

イネ科雑草の場合は、イネ科茎葉処理剤の「アフターエイド」を、ラウンドアップ500mlに対して1L混用することで効果があること。散布適期は6月から7月の雑草伸長期であること。

オオアレチノギクの場合は、伸長期の3月から8月にかけては、「バスタ」や「ザクサ」のようなグルホシネート剤と混用して使用すること。また、ラウンドアップ単剤で使用する場合は12月から1月のロゼット状態で越冬している状態であれば効果が期待できるとのことでした。

また、除草作業の労力低減につながるノズル、ULV5-Lightの紹介もありました。このノズルはラウンドアップ500mlを水量5Lで10a散布できることから、背負い式の散布機でも広い面積を楽に防除できるようです。(このノズルのサンプルは役場にも置いてありますので興味のある方は農業振興課でご確認ください。)



<お問い合わせ先>

勝浦町農業振興推進班

勝浦町農業振興課42-1505 JA農業振興戦略実践課088-538-7180 徳島農業支援センター088-626-8768